



「百本柱の家」 ～ベトナム・ロンアン省に残る伝統建築～

北陸銀行 国際部
ホーチミン駐在員事務所
グエン・ゴク・ビン・アン

1. はじめに

ホーチミン市からおよそ50km南西、メコンデルタ地方のロンアン省にロング・フー・ドン村があります。穏やかな田園風景が広がるこの土地に、ひときわ目を引く古民家が佇んでいます。それが「百本柱の家」です。

多くの訪問者を魅了する、ベトナムの伝統と職人技が詰まった歴史的建築物をご紹介します。



2. 百本柱の家

(1) フエの伝統的家屋

「百本柱の家」という名称ですが、実際には120本の柱で建てられています。68本の丸柱と52本の角柱が見事に配置され、全体の建築面積は882平方メートルに及びます。この家は1901年に着工され、建設に2年、内装の精緻な彫刻に3年かかり、1904年に完成しました。

フエ地方の伝統的なルオン様式を基にした建築様式を用い、漢字の「国」の形を模した間取りになっています。フエ出身の木彫り職人15名によって手作業で作られたこの家は、現在では希少な職人技の集大成とも言える存在になっています。



【百本柱の家の外観および内装(筆者撮影)】

「百本柱の家」の独創的な設計は、ベトナム国内でも類を見ないもので、文化的・歴史的価値が認められ、1997年にベトナム文化情報省（現ベトナム文化・スポーツ・観光省）より国家級歴史文化遺産に認定されました。

（2）建築美と芸術性

「百本柱の家」には、「陰陽調和」を象徴する杵と臼の意匠を屋根棟に取り入れるなど、ベトナムの風習が至る所に見られます。屋根は伝統的な「陰陽瓦」で葺かれ、床には赤色の煉瓦が敷き詰められています。

最大の特徴は、彫刻による装飾です。柱や梁、間仕切りに至るまで、彫刻職人の技が光ります。「四霊（龍・麟・亀・鳳）」、「四季」、「八種果物」、「福祿寿」などの伝統的なモチーフに加え、バラ、リス、ブドウといった西洋の動植物、ランブータン、スターフルーツ、マンゴスチンなどの熱帯果実が巧みに表現されています。

また、金箔と螺鈿で装飾された扁額や対聯が家の格式を高めており、昔の暮らしを偲ばせる調度品や家具もそのまま保存されています。これらは、すべて19世紀に製作されたもので、使用されている木材は紫檀、黒檀、チークなどの高級木材です。



3. おわりに

「百本柱の家」は、ベトナム映画のロケ地となったこともあり、ロンアン省の観光スポットのひとつとして紹介されています。しかし、交通インフラ整備の遅れから、本格的な観光客誘致には至っていません。今後、国内外から多くの観光客が気軽にこの地を訪れ、貴重な歴史的建造物を見られるようになることを願っています。

<ご注意>文中意見は筆者の個人的見解であり、北陸銀行としての見解の反映ではありません。当レポートは作成時点の経済状況に基づき、情報提供のみを目的に作成したものです。
記載内容についてはご利用者のご判断と責任のもと、ご利用くださいますようお願いいたします。

ほくりく長城会

長城メール

発行：北陸銀行 ほくりく長城会事務局
〒920-0024 金沢市西念1-1-3 コンフィデンス4F
（株）人材情報センター内
TEL：(076)254-6500 FAX：(076)254-6565
E-mail：info@chojo-hokugin.jp